

WAKABA

山梨県立わかば支援学校

平成30年 10月 19日発行

周囲の山々にも色づきの声が聞こえる美しい季節が到来してきました。本校でも様々な取り組みが行われております。小学部では、たんぽぽ運動会が行われ子どもたちの元気な姿が見られました。中学部では修学旅行や宿泊学習などの行事が終わり、生徒の成長した姿が見られました。また、高等部では、校内・校外実習が行われ卒業後に向けた取り組みが着々と進んでおります。



* オープンスクール *



今年度も6月、7月と、オープンスクールを実施しました。就学前のお子さんをもつ保護者向けの小学部見学会には、48名、学校全体で行われたオープンスクールには、275名（午後の教育相談は30件）と、大変大勢の方にご参加いただきました。

7月7日に行われたオープンスクールでは、小学部は、実態に応じて学習する「国語・算数」の授業や、集団で行う「生活単元学習」「あそびの指導」、中学部は個別で行われている「国語・数学」をはじめ、集団での「音楽」の授業を実施しました。また、高等部では「外国語」「美術」の教科や将来の進路に向けて行われている「職業」の授業を実施し、学部ごと特色のある授業を参観していただきました。

本校への就学・進学を希望されている方以外でも、本校の活動に興味をお持ちの方は、ぜひ来年度のオープンスクールご参加していただき、学校の様子を見ていただけたらと思います。



* 小学部・高等部 授業体験会 *

8月6日(月)、本校にて小学部と高等部の授業体験会および学校説明会が行われました。



小学部の授業体験会は、年長幼児6名と、保護者・関係者19名の参加がありました。自由遊びの後、朝の会、音楽と集団での活動を行いました。参加された保護者の方からは、「実際に体験できたので、子どもの様子も見られてよかった」と感想をいただきました。

高等部授業体験会は、中学部3年生24名、保護者20名、学校関係者9名、施設関係者1名の参加がありました。はじめの会を全体で行った後、「軽作業班」「木工班」「クリーン班」「クラフト班」に分かれて作業学習を体験しました。作業学習を体験した生徒からは「初めての体験だったけど楽しかった」などの感想をいただきました。食堂で行われた保護者向けの説明会では、学校概要及び高等部の様子について説明をしました。

～特別支援教育交流研修会～

夏休みに、特別支援交流研修会が行われました。この研修会は、特別支援教育にかかわる地域の教育関係者の方々と本校職員が交流を図りながら、共に学び、情報交換する場として、毎年開催しています。今年度は、二つの研修会が行われました。

『集団参加が苦手な子どもへの関わり方について』

講師：臨床心理士 中嶋彩先生

○集団参加

- ・障害のある子どもの場合、集団参加の準備ができていないことが多く、物理的に参加しながらも、心理的に孤立していることが多い。
- ・様々な集団が存在し、集団の質も違う。
- ・個人依存や、作業依存をする子どもは、集団が苦手なことが多い。
- ・嫌な経験をする前に、違う集団を知ること。1つしか集団を知らないと、集団に悪いイメージを持つ。

○情緒障害の特徴、関わり方

- ・情緒障害＝気持ちのコントロールが苦手。子どもが強いストレスを受けて、気持ちが乱れ、コントロールができない状態。
- ・自分で自分を出せない。(例)すねる、切れる →偏ると、不安、恐怖になる。
- ・ひどくなると、生活に支障をきたす。(例)パニック、他者に危害を加える、対人関係がネガティブ
- ・つらいときは、暑いだけでもつらい。音もうるさいと感じる。
- ・良い面を見てあげる。 治療法+心理療法
- ・仕事を維持
 - 1 心身の健康
 - 2 趣味の充実
 - 3 良好な家族関係
- ・今の子どもはたくさんの情報あり。
将来に絶望感を持ちやすい。 →希望を持たせてあげる。
- ・認めてくれる大人が必要。 →頼りがいがあるところを見せる。



〈研修のまとめ〉

働くこと、愛すること(活動を愛する、自分を愛する、他者を愛する)ことが、人生の目標になるとのお話でした。行く場所があるから、規則正しく生活できる事につながります。行く場所がないと、早く起きずに不規則な生活になってきます。動かないと体力も落ち、リハビリが必要となってきます。他者を愛し、つながりを求めることで、関係を構築し、信頼関係の形成ができるようになってくる、とのお話がなされました。

今回の研修会の後半は、参加者の方々から質問を集め、その質問に中嶋先生からお答えいただく形で進めました。予想以上にたくさんのご質問をいただきましたが、中嶋先生には短時間の中にポイントをおさえたお答えをいただき、大変勉強になりました。具体的な事例についてはお答えいただく時間はありませんでしたが、後日、中嶋先生にお話を伺い、「情緒障害のレベルを含めたアセスメントをしっかりとすること」「どこでだれとなら上手いくのか、成功例をよく分析して後の支援に生かすこと」が大切であるというご助言をいただきました。個々の事例につきましては、本校のセンター的機能が利用できますので、ご相談ください。

『発音が気になる子どもへの支援方法について』

講師：言語聴覚士 朝比奈恵美先生

- ・特定の語音を習慣的に誤って発音する現象。
- ・『うさぎ』を、『うちやぎ』と発音する場合、2歳児では困り感がない(問題ない)が、9歳児では会話に支障が生じる(構音障害)。

○構音指導の開始

指導の開始年齢は、言語発達年齢が4～5歳程度になってからとされている。

- (1) 構音の発達からみて、音の習得が遅いと言われる音群を除いた音がほぼ習得されている。
- (2) 音の把持能力が高くなり、単語を音の単位に抽出したり分解したりする能力が育っている。
- (3) 構音障害の自然改善の可能性が少ない。
- (4) 4,5歳になると、社会性が広がり、二次的障害を起こしやすい。

○発声発語器官の機能訓練(口作り)

発声発語器官の運動の随意性と巧緻性の獲得、巧みに動く口を育てる。

- (1) 日常生活の中で育てる。
- (2) あそびの中で育てる。
- (3) 口の体操
- (4) 母音の口形発声練習



〈研修のまとめ〉

日常生活でも、発声発語器官の機能訓練をすることができ、日頃の習慣が大切だと思います。食事では、よくかむようにし(食事やおやつを工夫)、味見をしたり、すすったり、熱い物を吹いて冷ましたりと、吹く力・吸う力・飲む力を育てられるということでした。また、うがいの習慣をつけ、表情豊かに暮らす(発音するときは顔全体の筋肉を使う)ことも、普段の生活の中で意識的に訓練できる方法の一つであるということ、学習会で話されました。



本校と高等支援学校桃花台学園の入学者選抜検査について



本校高等部と桃花台学園の出願期間や検査の日程については次のとおりです。詳しい内容は山梨県教育委員会のホームページの「平成31年度山梨県立特別支援学校幼稚部及び高等部入学者選抜の基本事項について」でご確認ください。なお、実施要項については、10月下旬です。県の発表に基づいて、各特別支援学校の入学者選抜事務説明会へ申し込んでください。

		わかば支援学校	高等支援学校 桃花台学園
出願受付期間		平成31年2月12日(火)から15日(金)の午前9時から午後4時まで及び2月18日(月)の午前9時から正午まで	平成31年1月18日(金)一括受付 1月21日(月)の午前9時から午後4時まで及び1月22日(火)の午前9時から正午まで
検査期日		平成31年3月5日(火)	平成31年2月1日(金)
検査内容		学力検査、生活動作検査及び面接	学力検査、作業検査及び面接
入学許可予定者発表		平成31年3月13日(水)	平成31年2月8日(金)
再募集	出願受付期間	再募集はありません	平成31年3月14日(木)午前9時から午後4時及び 3月15日(金)午前9時から正午
	検査期日		平成31年3月18日(月)
	入学許可予定者発表		平成31年3月20日(水)

※再募集は入学許可予定者が募集定員に満たなかった場合にのみ実施されます。

※特別支援学校に出願するためには、平成30年12月28日(金)までに該当する特別支援学校の教育相談を受ける必要があります。(再募集に出願するためにも必要です)

※本校高等部を受験する意向がある場合、他の学校と本校高等部で迷っている場合についても、2学期に教育相談を受けてください。(中学校を通して本校まで、ご連絡ください。)



学芸会のお知らせ



平成30年11月23日(金) ※勤労感謝の日

9:50~14:40頃 本校体育館にて、学芸会を行います。

当日は一般公開日ですので、本校への進学、転入などを考えている児童生徒や保護者の方々の参観も可能です。

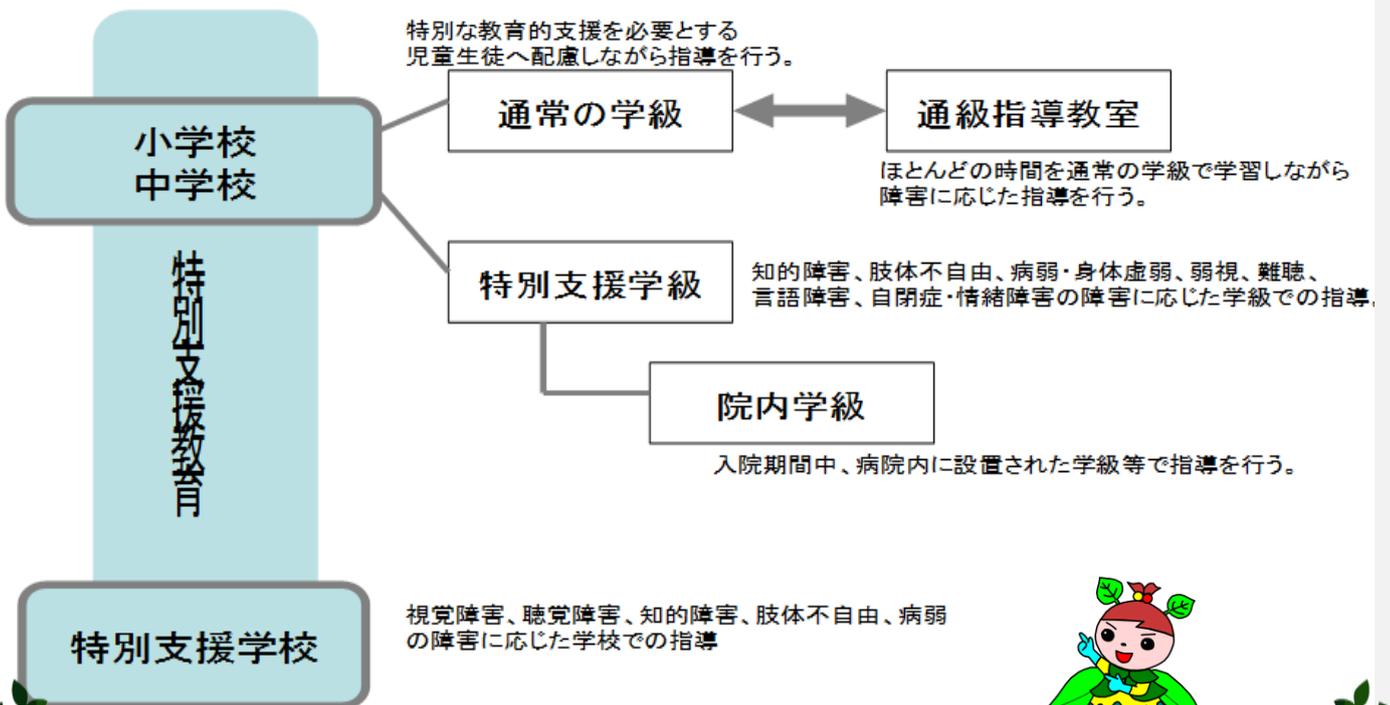
午前は小学部と中学部1、2年の発表、午後は12:40から中学部3年と高等部の発表になります。



わかばちゃん「ちょっと聞いてくりよ〜し」

それぞれの教育の場

今回は、障害があるお子さんに対する義務教育段階の教育の場を分かりやすく整理し、簡単にまとめました。



山梨県立わかば支援学校

〒400-0226 南アルプス市有野3346-3

TEL: 055-285-1750

FAX: 055-285-5827

担当: 地域支援部 (丸山なつ江、市川祐喜子、豊嶋千鶴、田中峻) 【URL】 <http://www.kaied.jp/wakaba/>
【E-Mail】 shien@wakabay.kaied.jp